

Nバス及びおでかけなんじいの利用状況について

令和4年6月

南 城 市

1 概況

- Nバス及びおでかけなんじいの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の流行状況によって大きく左右されており、令和3年6月～8月は両方をあわせた利用者数が300人/日前後でしたが、流行が落ちついた令和4年3月以降は、400人/日前後にまで利用者数が回復しています。
- なお、令和3年10～12月は利用者数が500人/日近くと多くなっていますが、新型コロナウイルスの流行の落ち着いたとともに、Nバス利用券の配布により利用者数が増加しています。
- また、市内の公共交通利用者数の推移をみると、再編前は260人/日前後で推移していましたが、再編後は新型コロナの影響がありながらも、300～370人/日と100人/日前後増加しています。

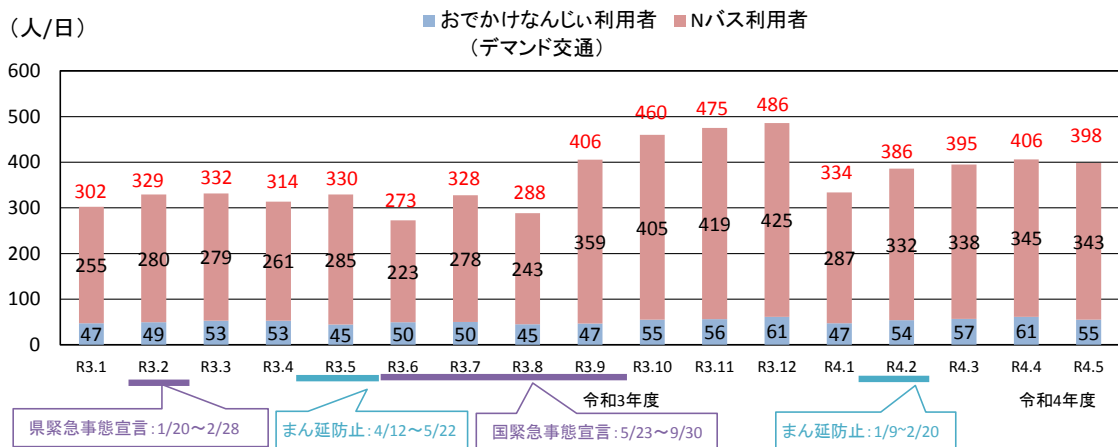
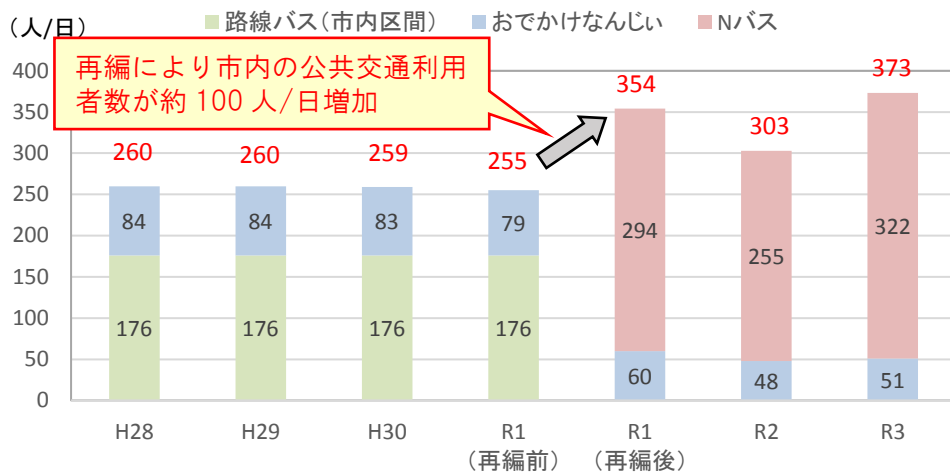


図-1.Nバス及びおでかけなんじいの利用状況の推移



※路線バスの利用者数は、H25 沖縄県調査より、市内区間のみの利用者数を整理
※R1(再編後)以降のデータには、路線バス利用者数は含まれていない。

図-2.市内の公共交通利用者数の推移

2 Nバスの利用状況

2.1 Nバスの運行状況

- 令和4年4月1日の運行見直しにより、A3系統がB1系統に統合、B3系統を新設、E、H系統が廃止となりました。
- Nバスの運行便数は平日67便から70便へ3便増便、休日は54便から55便に1便増便されており、系統が集約され、便数が増加しています。

表 1.Nバスの運行便数

| 系統 | R3.3 以前 | | R3.4 見直し | | 増減 | | 備考 |
|-------|---------|----|----------|----|----|----|--|
| | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 | |
| A1/A2 | 21 | 21 | 22 | 20 | +1 | -1 | <ul style="list-style-type: none"> ・急行便あり ・平日早朝便追加、夜間便廃止 ・休日夜間便廃止 |
| A3 | 1 | 0 | 0 | 0 | -1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・B1系統に統合 |
| B1/B2 | 13 | 13 | 20 | 20 | +7 | +7 | <ul style="list-style-type: none"> ・A3系統を統合 ・日中を通じて、双方向化 ・急行便あり |
| B3 | 0 | 0 | 2 | 0 | +2 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・幹線バスの廃止代替 |
| C1/C2 | 18 | 18 | 16 | 15 | -2 | -3 | <ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日夜間便廃止 ・向陽高校周辺でルート変更 |
| D1 | 3 | 0 | 2 | 0 | -1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・早朝便廃止 ・学校の長期休暇に関わらず平日運行 |
| D2 | 5 | 0 | 4 | 0 | -1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・夜間便廃止 ・学校の長期休暇に関わらず平日運行 |
| E | 1 | 1 | 0 | 0 | -1 | -1 | <ul style="list-style-type: none"> ・系統廃止 |
| F1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | -1 | <ul style="list-style-type: none"> ・休日廃止 |
| F2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・玉城幼稚園周辺でルート変更 ・学校の長期休暇に関わらず平日運行 |
| F3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・向陽高校周辺でルート変更 ・学校の長期休暇に関わらず平日運行 |
| G | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・大里東地区でルート変更 ・学校の長期休暇に関わらず平日運行 |
| H | 1 | 0 | 0 | 0 | -1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・系統廃止 |
| 計 | 67 | 54 | 70 | 55 | +3 | +1 | |

2.2 利用者数の推移

- Nバスの利用者数は、8月までは1日当たり300人/日以下でしたが、9月以降利用者数が増加し、12月には425人/日にまで達しています。
- Nバス利用券の配布もあり、10月～12月は再編直後の377人を上回る利用者数で推移していましたが、令和4年1月にまん延防止等重点措置が適用され、利用者数が300人/日前後と10～12月に比べ、100人/日前後と大きく利用者数が減少しています。
- まん延防止等重点措置が解除された令和4年3月以降は、利用者数が340人/日前後と安定してきています。

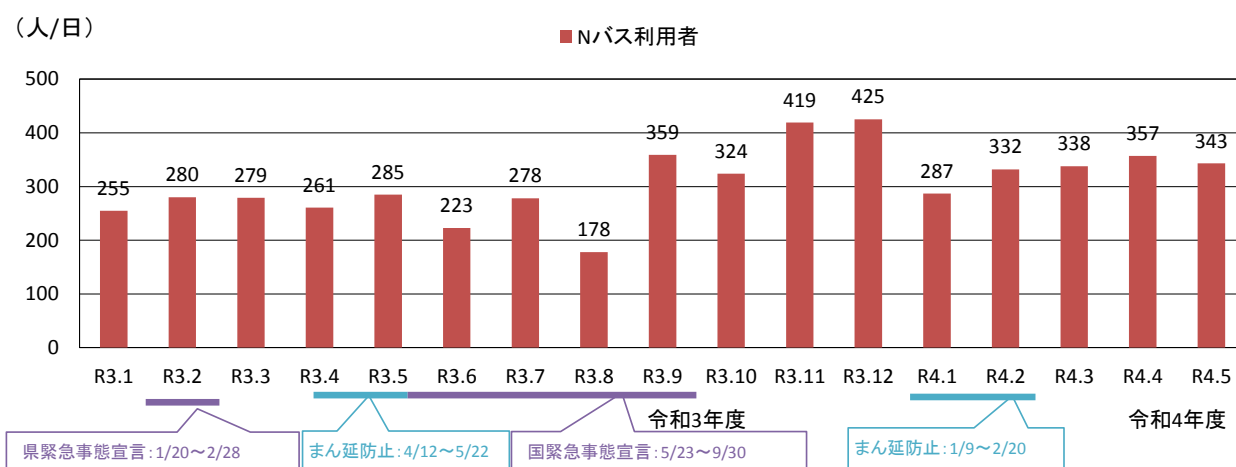


図-3.Nバスの利用者数の推移

2.3 運賃区分別利用者数の推移

- Nバスの運賃区分別の利用者数をみると、令和4年5月においては、「一般」が35%と最も多く、次いで、「高校生」17%、「中学生」15%、「小学生」14%の順に多くなっています。なお、「現金」での支払いは、支払方法の都合により一般、高校生、中学生、小学生の区別が不明です。
- 運賃区分別の利用者数の推移は、新型コロナの影響に応じて増減しています。夏休み期間中の8月は、高校生、中学生、小学生の利用が少なくなっています。

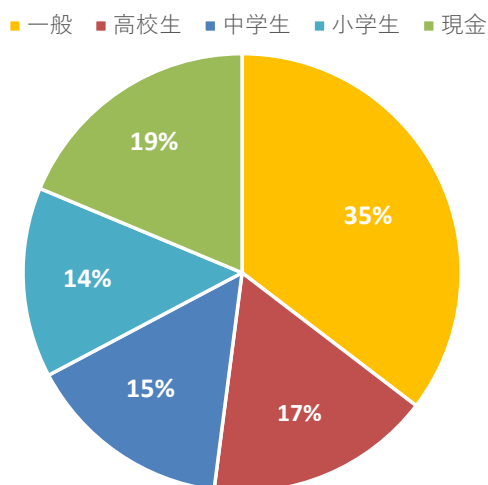


図-4.Nバスの運賃区分別の利用者数(令和4年5月)

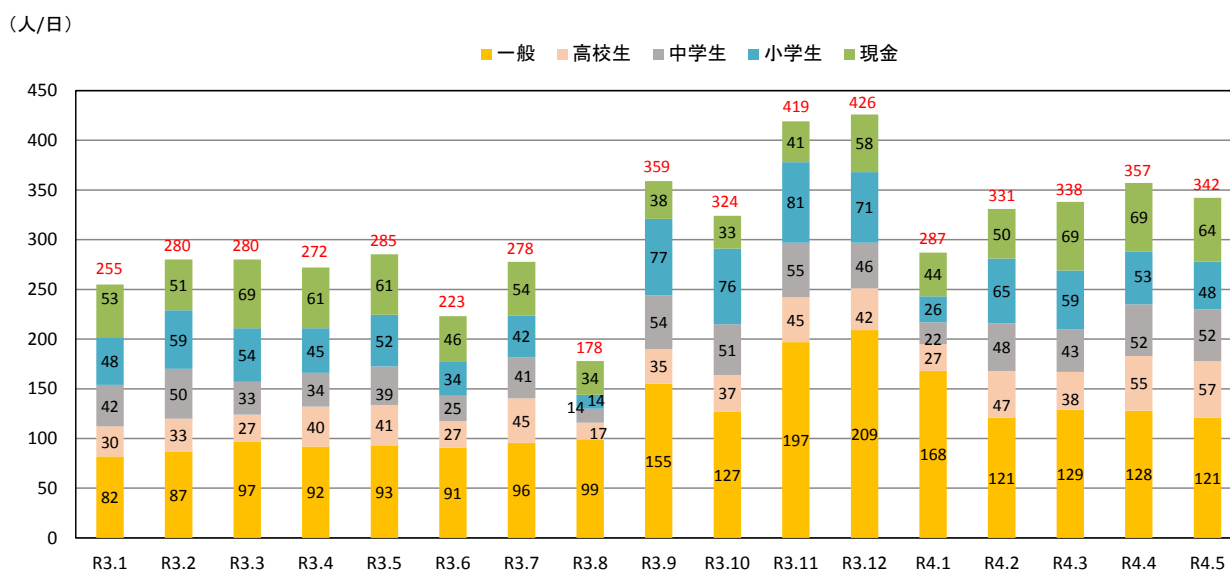


図-5.Nバスの運賃区分別の利用者数の推移

2.4 券種別利用者数の推移

- Nバスの券種別の利用者数をみてみると、令和4年5月においては、「回数券」が63%と最も多く、次いで、「現金」19%、「OKICA」18%の順に多くなっています。
- さらに、運賃区分別券種別にみてみると、年代が若いほど、「回数券」の利用が多く、年代が上がるにつれ「OKICA」の割合が高くなっており、「回数券」の利用割合は、小学生、中学生の90%に対し、一般は67%と23ポイント下回っています。
- 令和3年7月にNバス利用券が配布され、使用期間の令和4年1月までは、約100～200人/日がNバス利用券を利用し、全体の利用者数も新型コロナの影響もある中で約300～400人/日の利用がありました。令和4年2月以降は、再び回数券の利用が増え、全体の利用者数は340人/日前後とNバス利用券配布前よりも多くなっています。
- 令和3年10月にOKICAが導入され、導入直後は約20人/日の利用者で推移していましたが、Nバス利用券の利用期間が終了した令和4年2月以降徐々にではありますが、OKICAの利用が増えてきています。

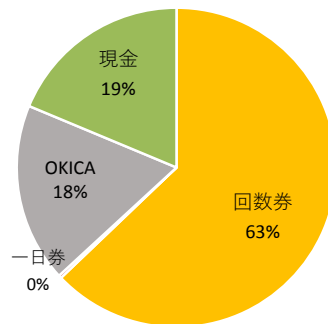


図-6.Nバスの券種別の利用者数(令和4年5月)

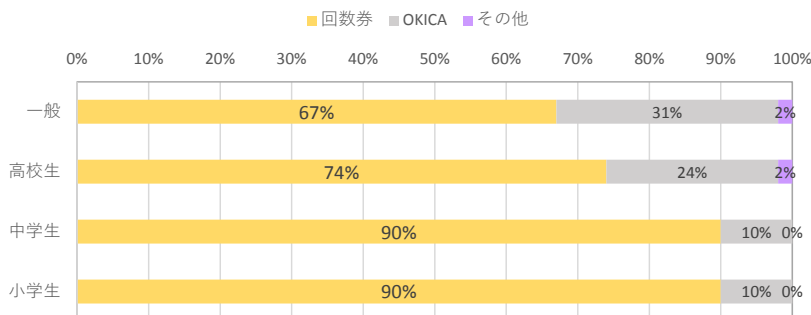


図-7.Nバスの運賃区分別券種別の利用者数(令和4年5月)

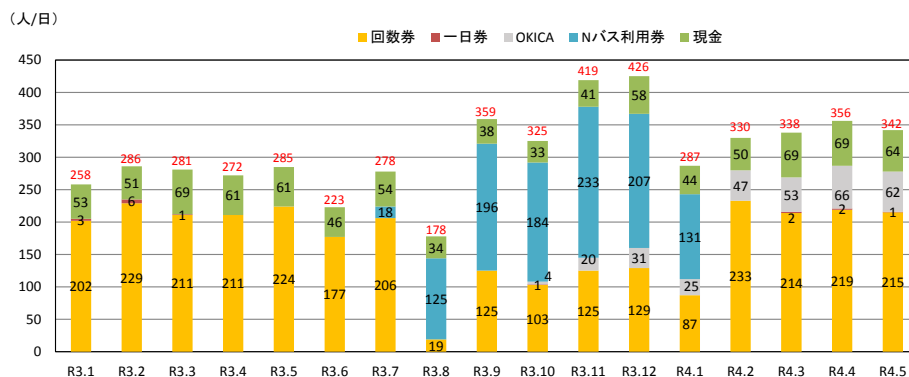


図-8.Nバスの券種別利用者の推移

※OKICAはR3.10月から導入

2.5 曜日別利用者数の推移

- 曜日別の利用者数は、8月までの平日は250～370人/日前後、土曜日は150～220人/日、日祝日は110～190人/日が利用しています。
- 9月以降は、利用券を配布した影響で、すべての曜日で利用者が増加しており、平日は430～500人/日、土曜日は220～250人/日、日祝日は190～260人/日が利用しています。
- 特に、日祝日の利用者数の増加が目立っており、11月、12月は土曜日の利用者数よりも多くなっています。
- まん延防止等重点措置が解除された令和4年3月以降は、平日が400～440人/日、土曜日が190人～200人/日、日祝日が170人～190人/日と利用者数が安定してきていますが、平日に比べ土曜日、日祝日の利用が半分以下の状態は続いています。

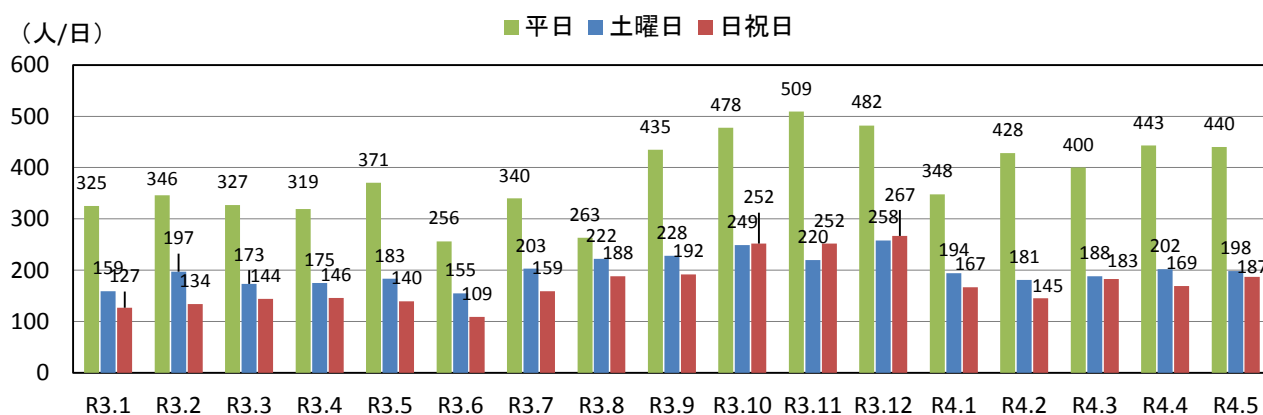


図-9.曜日別利用者数の推移

3 おでかけなんじいの運行・利用状況

3.1 運行形態

- 令和元年10月の再編以降、おでかけなんじいの運行エリアは南城市内のみとなり、また、運賃は75歳未満が500円、75歳以上が200円になっており、再編後は回数券が廃止されています。
- おでかけなんじいには減便、増便等の基準を設定していますが、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大幅に減少しているため、基準を適用せず、再編後の運行計画をそのまま継続しています。

表 2.現在の「おでかけなんじい」の運行形態

| 項目 | 内容 | 備考 |
|-------------|--|----------------------------|
| 名称 | おでかけなんじい | |
| デマンドバスの運行範囲 | 久高島を除く南城市全域 | 再編前は向陽高校まで運行 |
| 利用対象 | 南城市を訪れる観光客及び南城市民 (年齢制限なし) | |
| 利用料金 | 75歳未満は一人一律、1回500円 75歳以上は一人一律、1回200円 (未就学児は無料) ※回数券は廃止 | 再編前は一人1回300円(未就学児無料)、回数券あり |
| 運行形態 | ドア to ドア方式の区域運行 (フルデマンド) | |
| 運行曜日 | 平日・休日(土日祝)の毎日 ※12/31～1/3は除く | |
| 運行時間帯・運行便数 | ●8～20時(8時台～19時台の1時間ごとに運行) ●平日9時台～18時台、土曜日の11～15時台は3台/時運行 ●その他の時間帯は2台/時運行 | 再編前は、土曜日16時台は3台/時で運行 |
| 運行車両台数 | 最大3台(5人乗り車両) | 令和元年11月以前は10人乗り |
| 利用方法 | 観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の30分前までに電話にて予約。ただし、8時台は前日までの予約が必要。 | |

表 3.「おでかけなんじい」の運行台数

| 曜日 | 時間帯 | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 8時 | 9時 | 10時 | 11時 | 12時 | 13時 | 14時 | 15時 | 16時 | 17時 | 18時 | 19時 |
| 平日 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| 土曜日 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 日祝日 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |



3.2 運行便数

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度は1日当たりの運行便数が23～27便/日と変動がありましたが、令和4年2月以降は26便/日で落ち着いてきています。

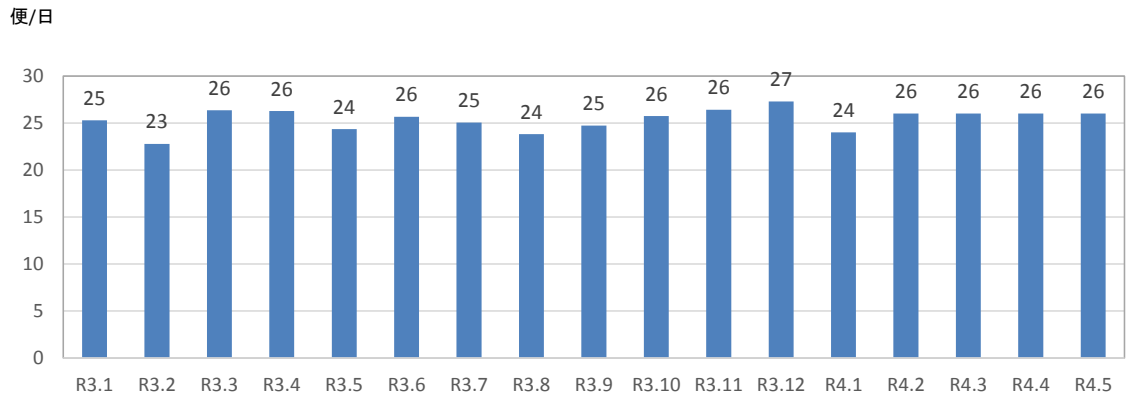


図-10.「おでかけなんじい」の運行便数の推移

3.3 利用者数

- 新型コロナ禍の影響で、1日当たりの平均利用者数は、45～61人/日と変動が大きく、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言発令中の利用者数は50人/日以下となっています。
- 緊急事態宣言が解除された令和3年10月以降は利用者数は増加傾向で推移し、12月の利用者数は61人/日に達しましたが、令和4年1月はまん延防止等重点措置により47人/日まで減少しています。

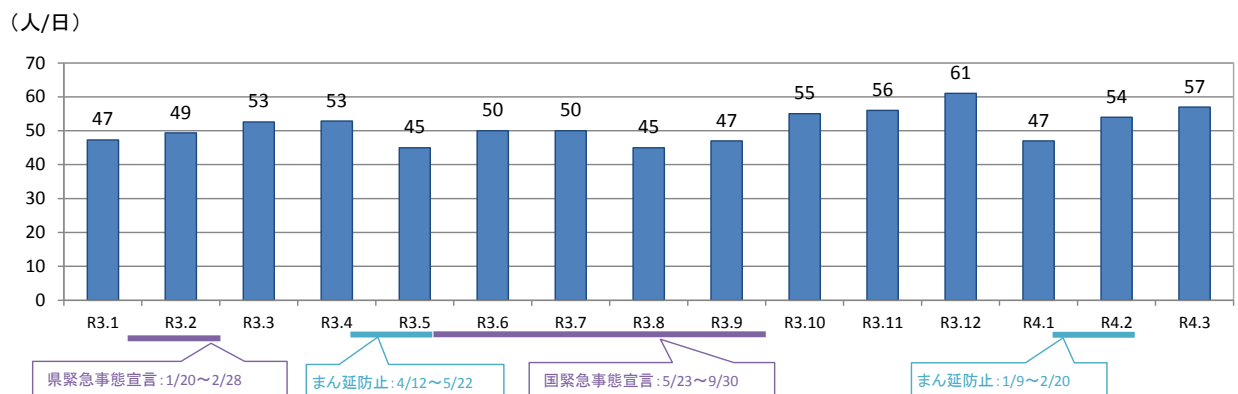


図-11.「おでかけなんじい」の利用者数の推移

3.4 曜日別の利用状況

●利用者数が最も多い令和3年12月の状況を見てみると、平日の65.4人/日に対し、土曜日は43.7人/日、日祝日は41.2人/日と、土曜日、日祝日は平日に比べ20人/日以上利用者数が少なくなっています。

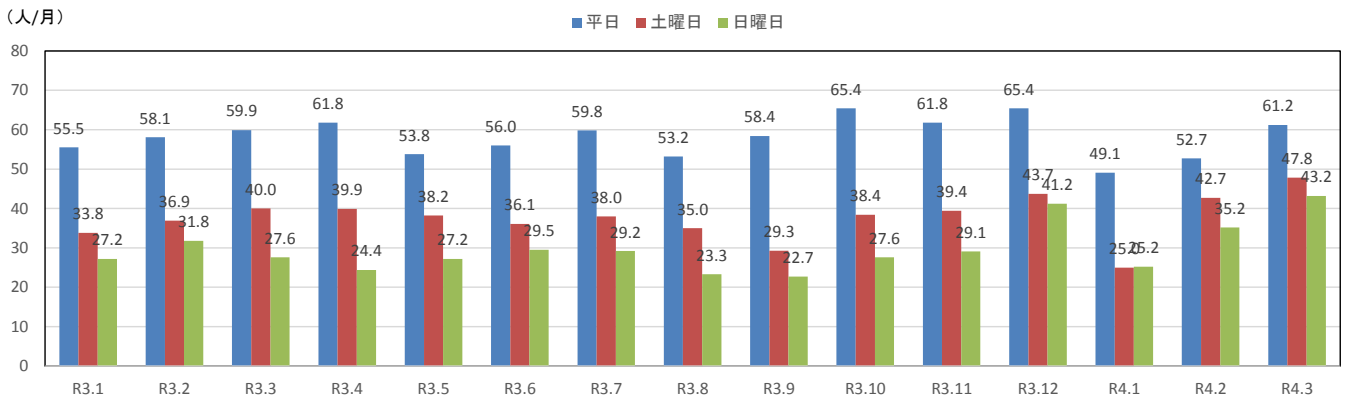


図-12.曜日別の「おでかけなんじい」の利用者数

3.5 曜日別時間帯別の利用状況

●平日は、10時台の7.1人/時及び14時台の7.0人/時をピークに、13時台は一時的に利用者数が減少するものの、9時台から16時台において5.0人/時以上に利用されています。
 ●日祝日の利用が少なく、ピークの11時台においても4.2人/時にとどまっております。9時台以前及び16時台以降は、3.0人/時を下回っています。
 ●なお、すべての曜日で19時台は廃止の基準0.5人/時を下回っています。(新型コロナのため今年度の運行計画に基準は適用していません)

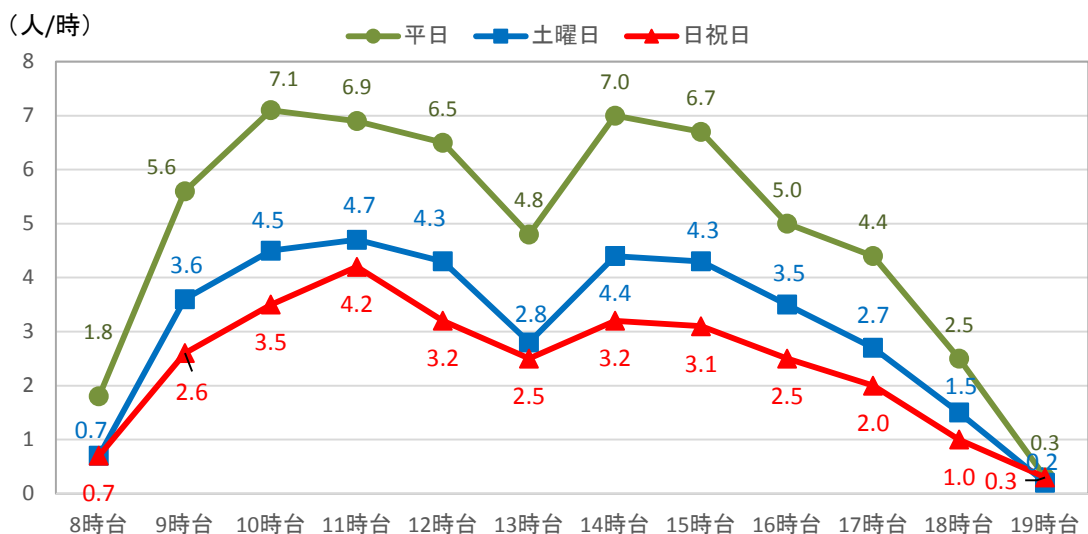


図-13.曜日別時間帯別の利用状況

3.6 性別の構成

- 利用者の男女比は概ね3：7となっています。
- 利用者の男女比の推移に大きな変動はみられません。

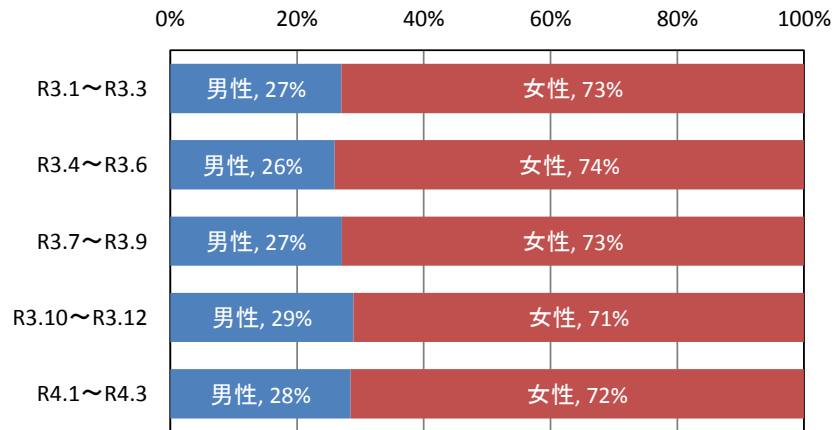


図-14.利用者の性別の推移

3.7 年齢構成

- 令和4年5月における利用者の年齢構成は、「80～84歳」が32%、「75～79歳」が25%、「85歳～」が25%と高齢者の利用が多く、75歳以上が全体の79%を占めています。
- 年齢構成の推移をみると緊急事態宣言が発令されていたR3.7～R3.9は「75歳～」の割合が74%と他の期間に比べやや低くなっています。

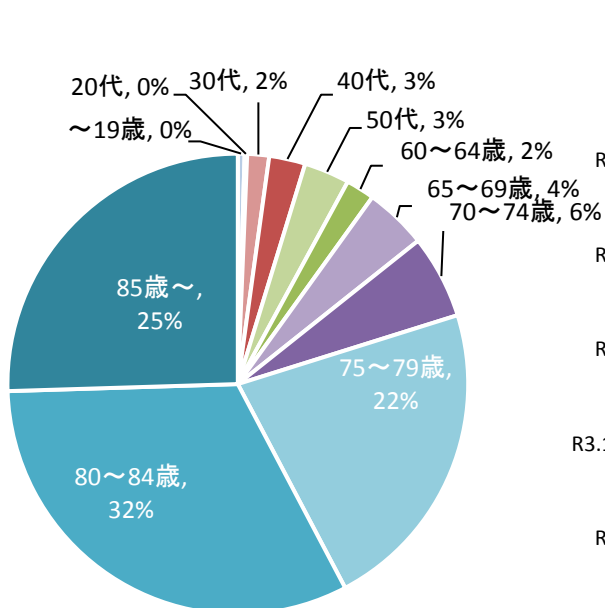


図-15.利用者の年代(R4.5)

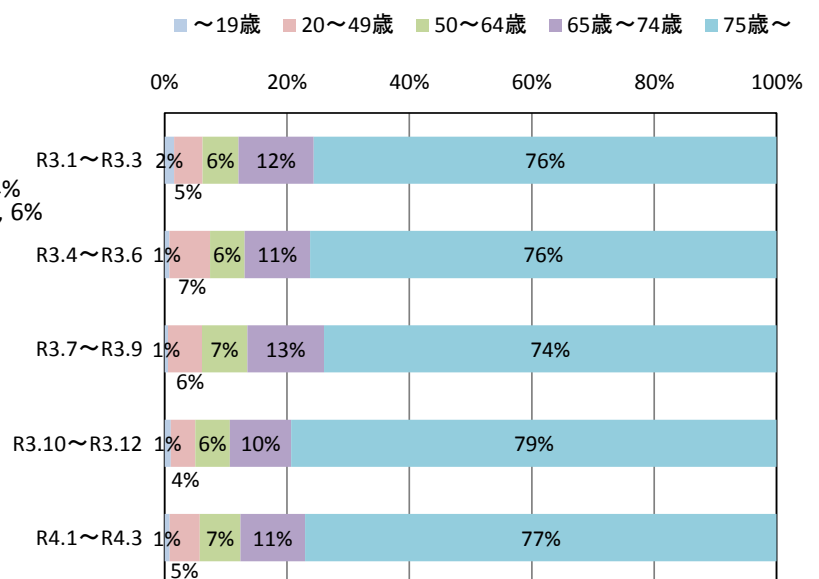


図-16.利用者の年代の推移

3.8 市民と観光客

- 令和3年度における観光客の利用者数は0.7人/日、利用割合は1%にとどまっています。
- 四半期ごとの観光客の利用者数をみていると、R3.10～R3.12のみが1.2人/日と1.0人/日を超えています。その他の期間の観光客の利用者数は1.0人/日を下回っており、新型コロナウイルスの影響により観光客の利用が非常に少なくなっています。
- なお、令和元年10月の公共交通の再編前には、6人/日前後、再編直後はNバスの導入にもあり2.2人/日前後に減少していますが、現状よりも多くの観光客の利用がありました。

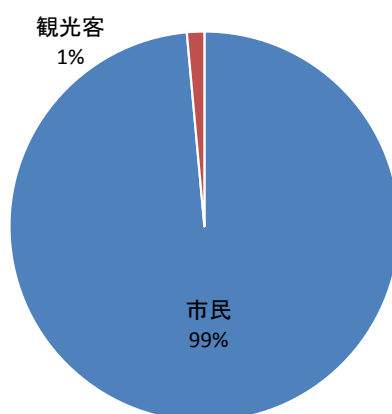


図-15.市民と観光客の構成比(R3.4～R4.3)

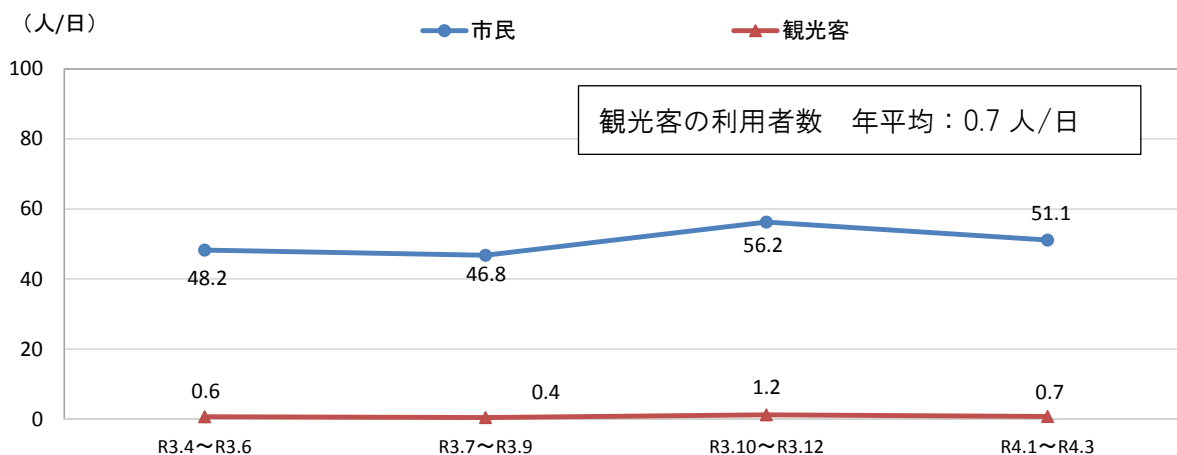


図-17.おでかけなんじいの市民と観光客の利用者数の推移

4 令和3年度の利用状況のまとめ

- Nバス及びおでかけなんじいともに、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、利用者数が増減しており、利用者数の変動が大きくなっています。
- 令和4年3月以降は、Nバスの利用者数は350人/日前後、おでかけなんじいの利用者数は50人・日前後と利用者数が安定してきています。
- Nバスは、無料券配布の効果も大きく、無料券の利用が多かった9月～12月は全体の利用者数が400/人前後に増加しました。
- Nバス、おでかけなんじいともに土曜日、日祝日の利用者数が平日に比べ、半数程度と少なく、休日の需要喚起又は、ニーズに応じた運行計画の見直しが課題としてあげられます。

表 4.令和3年度の利用状況のまとめ

| 項目 | 内容 |
|---------------|--|
| 利用者数 | ●Nバス及びおでかけなんじいの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の流行状況によって大きく左右されており、流行期は300人/日前後、流行が落ち着いた時期は400人/日前後と、約100人/日の利用者数の差がみられる。 |
| 曜日別/時間帯別の利用状況 | <ul style="list-style-type: none"> ●Nバス、おでかけなんじいともに土曜日、日祝日の利用者数が平日の半分程度となっている。 ●おでかけなんじいは、平日の10時台、14時台をピークに午前、午後の利用が多く、夕方は利用者数が少なくなる。 ●すべて曜日でおでかけなんじいの19時台の利用者数は廃止基準の0.5人/時を下回っている。 |
| 性別の構成 | ●おでかけなんじい利用者の男女比は概ね3：7で大きな変動はみられない。 |
| 年齢構成 | ●「おでかけなんじい」の利用者の年齢構成は75歳以上が利用者の76%を占める。 |
| 市民と観光客の利用 | ●「おでかけなんじい」の観光客の利用は、新型コロナウイルスの影響を受け、再編後の2.2人/日から0.7人/日へと大きく減少している。 |